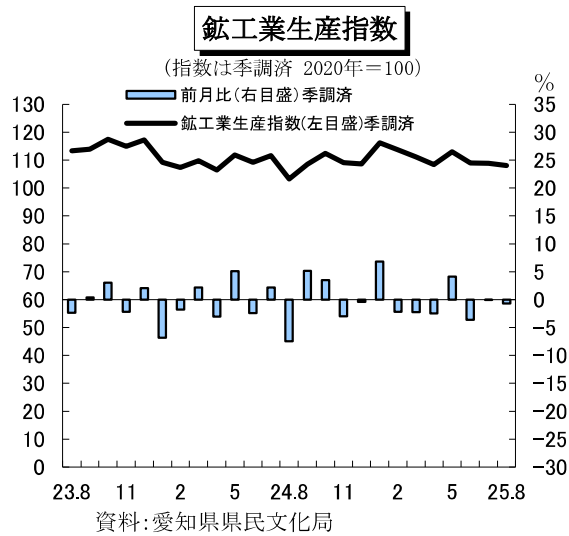


あいち経済の動き（月報）

（2025年8月分）

生産：鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比0.6%の低下



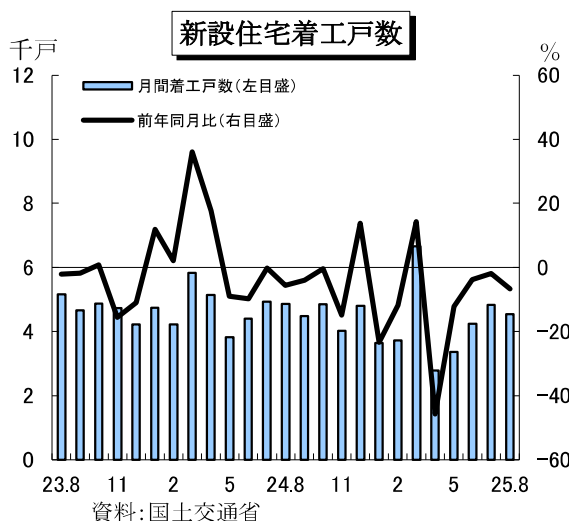
2025年6月	7月	8月
↘	→	→

主な指標の動き

鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比で、生産用機械工業が13.1%低下するなど、全体で0.6%の低下となりました。

また、鉱工業生産指数(原指数)は、前年同月比で、窯業・土石製品工業が22.7%上昇するなど、全体では2.1%の上昇となりました。

投資（住宅建設）：新設住宅の月間着工戸数は、前年同月比6.7%の減少



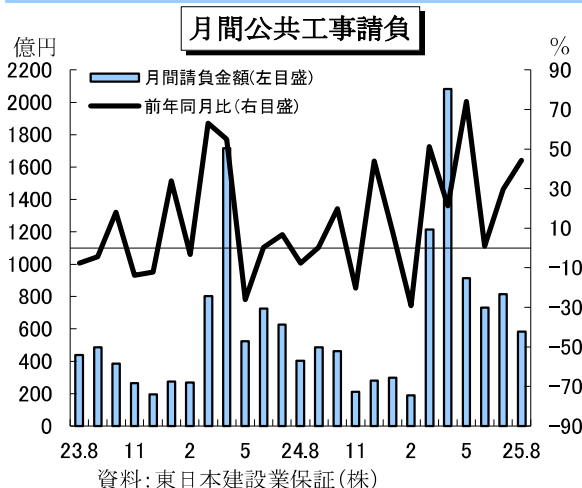
2025年6月	7月	8月
↘	→	→

主な指標の動き

新設住宅の月間着工戸数の前年同月比は、6.7%減となり、5か月連続で減少となりました。

主な内訳は、分譲住宅が7.6%、持家が0.7%減少し、貸家が26.9%増加となっています。

投資（公共工事）：公共工事の月間請負金額は、前年同月比44.3%の増加



2025年6月	7月	8月
→	↗	→

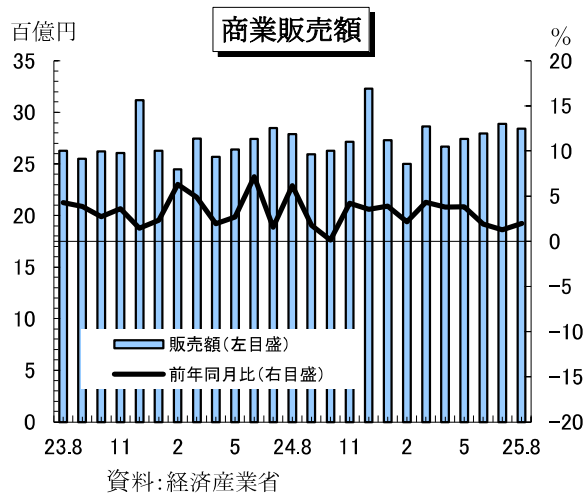
主な指標の動き

公共工事の月間請負金額の前年同月比は、44.3%増となり、6か月連続で増加となりました。

月間請負件数の前年同月比は、3.4%増となり、5か月連続で増加となりました。

※上記の矢印の向きは月間請負金額を示すもの。

個人消費：商業販売額は、前年同月比2.0%の増加



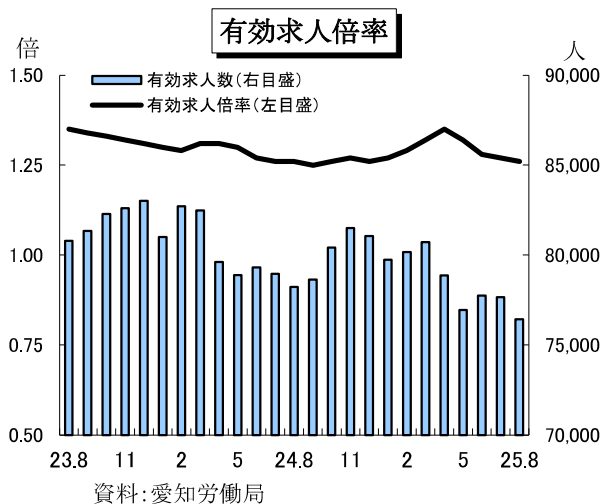
2025年6月	7月	8月
➡	➡	➡

主な指標の動き

スーパーなどの商業販売額の前年同月比は、2.0%増となり、48か月連続で増加となりました。

主な内訳として、スーパー販売額の前年同月比は、飲食料品が2.9%増となるなど、全体では1.3%の増加となりました。

雇用：有効求人倍率は、1.26倍



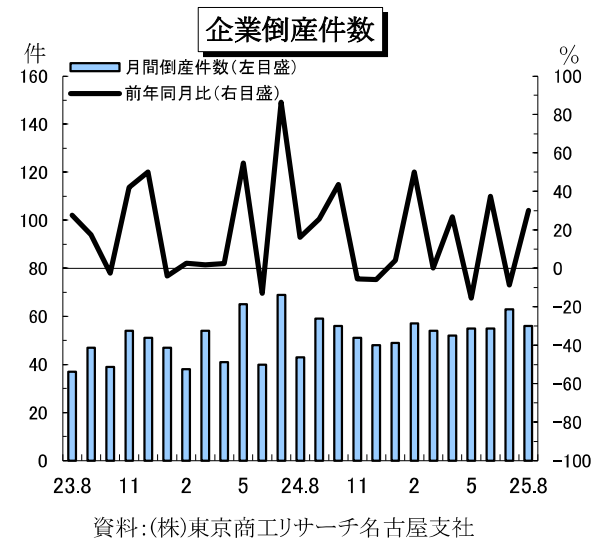
2025年6月	7月	8月
➡	➡	➡

主な指標の動き

有効求人倍率は、1.26倍と4か月連続で低下となりました。

有効求人数の前年同月比は、2.3%減となり、15か月連続で減少となりました。

企業（倒産）：月間倒産件数は、前年同月比30.2%の増加



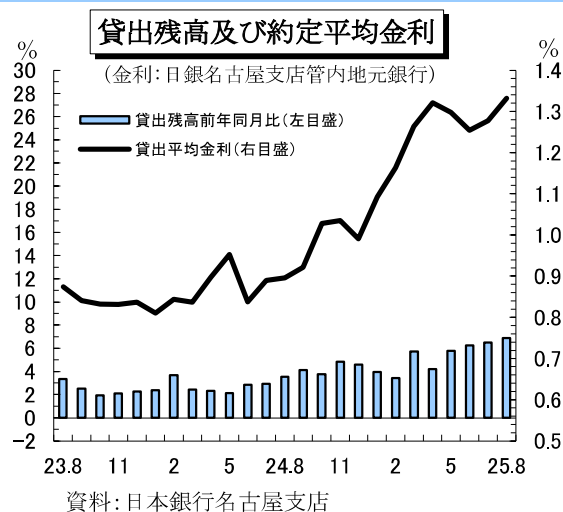
2025年6月	7月	8月
↘	↗	↘

主な指標の動き

企業の月間倒産件数は56件となりました。また、前年同月比では30.2%増となり、2か月ぶりの増加となりました。

業種別にみると、倒産件数の多い順に、サービス業他が18件、建設業が12件、小売業が9件、製造業が8件、卸売業、情報通信業が3件、運輸業が2件、農・林・漁・鉱業が1件となっています。

企業（金融）：貸出残高は、前年同月比6.9%の増加



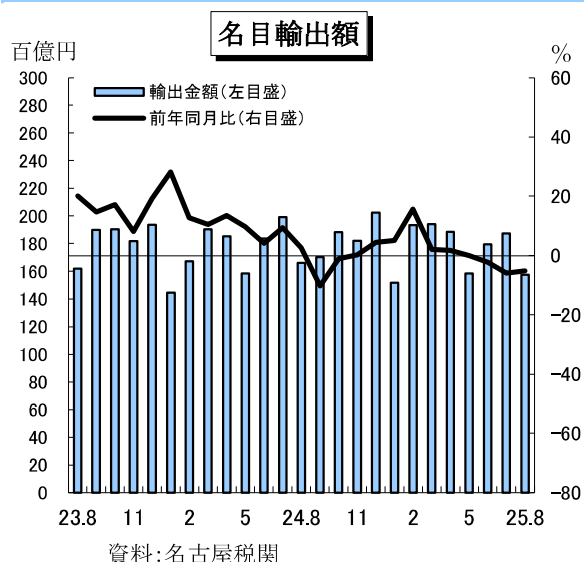
2025年6月	7月	8月
↗	↗	↗

主な指標の動き

貸出残高の前年同月比は、6.9%増となり、39か月連続で増加となりました。

※上記の矢印の向きは貸出残高を示すもの。

貿易（輸出）：名目輸出額は、前年同月比5.1%の減少



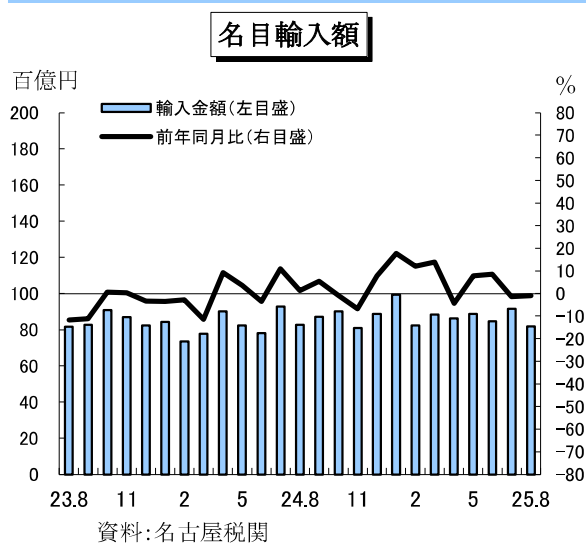
2025年6月	7月	8月
↘	↘	↘

主な指標の動き

名目輸出額の前年同月比は、5.1%減となり、3か月連続で減少となりました。

内訳を地域別にみると、北米向けの輸出が15.7%、EU向けが4.3%、アジア向けが0.8%減少しました。

貿易（輸入）：名目輸入額は、前年同月比1.0%の減少



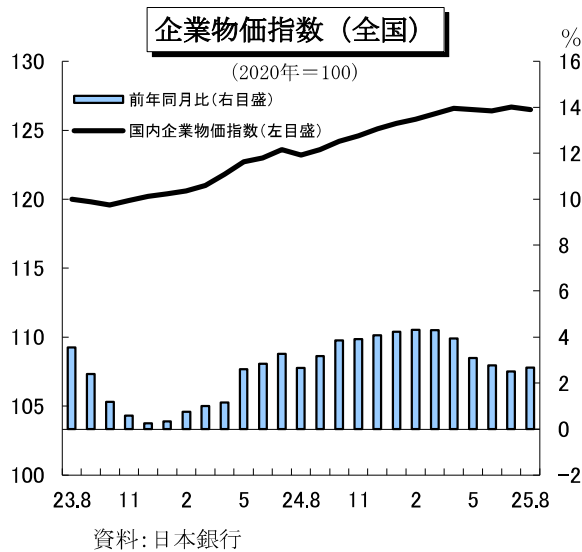
2025年6月	7月	8月
→	→	↘

主な指標の動き

名目輸入額の前年同月比は、1.0%減となり、2か月連続で減少となりました。

内訳を地域別にみると、EUからの輸入が5.2%減少し、北米からは13.3%、アジアからは5.6%の増加となりました。

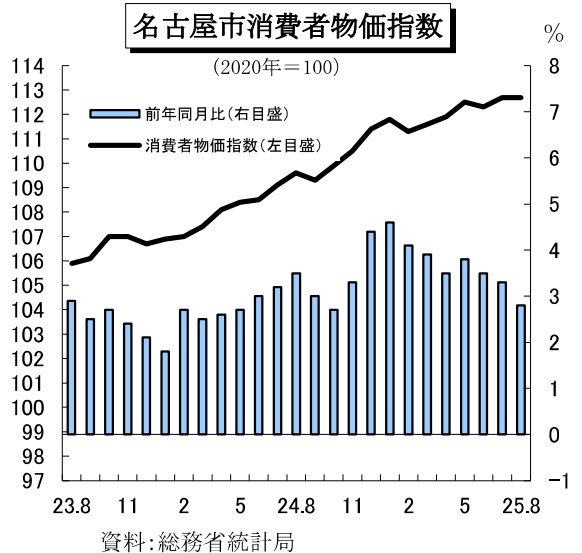
物価（企業物価）：企業物価指数は、前年同月比2.7%の上昇



2025年6月	7月	8月
↗	↗	→

主な指標の動き
国内品の企業物価指数(2020年＝100)は、126.5となりました。また、前年同月比は2.7%上昇し、54か月連続の上昇となりました。
前月比では0.2%の低下となりました。

物価（消費者物価）：名古屋市消費者物価指数は、前年同月比2.8%の上昇



2025年6月	7月	8月
↗	↗	↗

主な指標の動き
名古屋市消費者物価指数(総合)(2020年＝100)は、112.7となりました。また、前年同月比は2.8%上昇し、46か月連続の上昇となりました。
前月比では横ばいとなりました。

(注) 矢印は、3か月前比を中心に変化の方向を表すため、毎月の変動とは異なる場合があります。

経済指標の矢印判定の推移

	2025年 3月	4月	5月	6月	7月	8月
生産	→	→	→	↘	→	→
投資(住宅建設)	↗	↘	↘	↘	→	→
投資(公共工事)	↗	↗	↗	→	↗	→
個人消費	→	→	→	→	→	→
雇用	↗	↗	↗	→	→	→
企業(倒産)	→	↘	↗	↘	↗	↘
企業(金融)	↗	↗	↗	↗	↗	↗
貿易(輸出)	→	→	→	↘	↘	↘
貿易(輸入)	↗	↘	→	→	→	↘
物価(企業物価)	↗	↗	↗	↗	↗	→
物価(消費者物価)	↗	↗	↗	↗	↗	↗
↗	7	5	6	3	5	2
→	3	3	3	3	2	4
↘	0	3	1	4	1	3
⇨	1	0	1	1	3	2

(注) 水平矢印の黒色・白色は直近の上向き・下向き矢印に依存する。

あいち経済の動き・矢印判定基準等

		使用データ	矢印判定基準
生産		愛知県県民文化局統計課「愛知県鉱工業指数」 ／生産指数（鉱工業）	↑：前月比3%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：前月比3%以上マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外
投資	住宅建設	国土交通省「住宅着工統計」／新設住宅着工戸数	↑：月間着工戸数の対前年同月比3%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：月間着工戸数の対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
	公共工事	東日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」／月間請負金額	↑：対前年同月比3%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
個人消費		経済産業省「商業動態統計」のうち「業態別、都道府県別、商品別販売額等」 ／商業販売額合計	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
雇用		愛知労働局「最近の雇用情勢」／有効求人倍率	↑：有効求人倍率1 超かつ対3か月前比プラスの場合又は有効求人倍率対前月0.1 ポイント以上プラスで、かつ対3か月前比0.2 ポイント以上プラスの場合 ↓：有効求人倍率1 未満かつ対3か月前比マイナスの場合又は有効求人倍率対前月0.1 ポイント以上マイナスで、かつ対3か月前比0.2 ポイント以上マイナスの場合 →：上記以外
企業	倒産	㈱東京商工リサーチ名古屋支社「東海三県下企業倒産動向」	↑：月間倒産件数の対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス ↓：月間倒産件数の対前年同月比5%以上かつ同比の対3か月前比プラス →：上記以外
	金融	日本銀行名古屋支店「都道府県別預金、現金、貸出金（国内銀行）」／貸出残高	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
貿易	輸出	名古屋税関「管内貿易概況」／名目輸出額	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
	輸入	同上／名目輸入額	同上
物価	企業物価	日本銀行「企業物価指数」／国内企業物価	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外
	消費者物価	総務省統計局「消費者物価指数」／名古屋（総合）	同上
区分		上昇 	横ばい  下降 

（注）1. 矢印は、対前年比、3か月前比を中心に変化の方向を表す。

2. 「倒産」については、倒産件数が上昇の場合は“↘”を、下降の場合は“↗”を表示する。